

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	19103002	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	グローバル化と日本経済— ヒト、モノ、カネ、社会共通資本—	研究代表者 (所属・職)	矢野 誠 (京都大学・経済研究所・ 教授)

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価		評価基準
○	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>「グローバル化」と「市場の質」といった今日的に重要な課題をキーワードとして、ヒト、モノ、カネ、社会共通資本について、先端的な研究を進めている。既に、多くの査読付きの国際的ジャーナルでの公表があり、研究成果が着実に見られる。論文のそれぞれは質の高いものであり、高い評価に値する。当初の予定を超えて、最近起こった金融危機にも対応しようとしており、最新の問題にも注目している。ヒト、モノ、カネ、社会共通資本ごとによく組織されており、研究をさらに進めることが望まれる。</p>		

【平成24年度 検証結果】

検証結果	研究進捗評価結果どおりの研究成果が達成された。
A+	<p>市場経済の「グローバル化」が経済に及ぼす本質的な影響について、景気変動の国際的連関と「市場の質」という切り口から分析するという方法は独創的かつ重要な分析手法であり、国際的学術専門誌における研究成果の発表件数のみでも30数件ということは、当初の目標を上回るものである。</p> <p>分析範囲を研究開始後の国際的金融危機に対応させた点及び当初設定した分析手法による研究成果に関しては期待以上だと評価できる。さらに、今後の論文発表では金融危機の契機となった金融派生証券市場に内在する不安定性の解明も期待したい。</p>